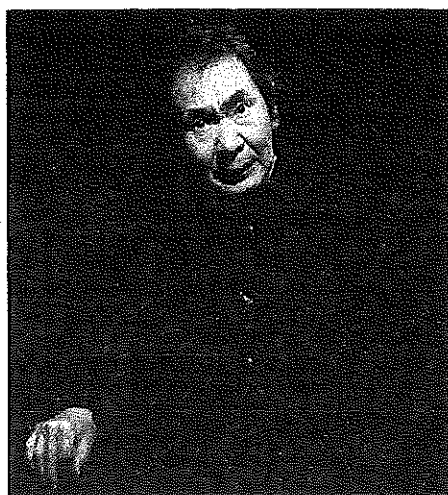


独演

椿の海の記

くもろひひとつのこの世をもとめてく



井上弘久

企画・制作・構成・

演出・出演

吉田水子

音楽(コントラバス・

歌・鈴・その他の音



吉田水子企画

原作：石牟礼道子

作曲：金子忍

昭和6年(1931年)頃の水俣を舞台に、幼少期の自分＝四歳のみっちゃんを主人公にした石牟礼道子原作の小説『椿の海の記』。
楽器の生演奏にのせながら、俳優の井上弘久さんが第一章「岬」を語り、演じます。

2月25日(金) 開場17:30 開演18:00

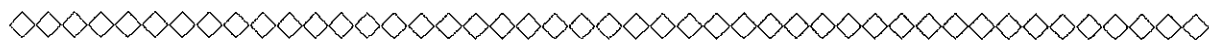
茅ヶ崎市民文化会館小ホール

茅ヶ崎おやこ劇場は、すぐれた舞台芸術等の文化を通して、子どもたちの心を豊かに育てていきたいと願う親たちが集い、1983年に創立された会員制の「子育ての会」です。

バーチャルリアリティと呼ばれる映像やゲーム。より現実に近いリアルな世界を大人たちは子どもたちに提供し続けている。そこには子どもたちが想像や空想を膨らませる隙間はどこにもない。一見何もなかった貧しい時代は、手作りの玩具や遊びを考案させ、子どもたちの豊かな想像力を育ててきた。身近にいる誰かの痛みを感じ取り、喜びに共感し、悲しみを憂い、苦しみを分け合うことで、世界はまるで違った見え方をしていく。何の飾りもない素舞台上に立つ役者と生の音楽が紡ぐ劇の時間は、見ている子どもたち自身が感じ、想像することで、鮮やかな演劇的世界を繰り広げていく。

(椿の海の記 公演パンフレットより)

感性をはたらかせ、見えないものの世界にまで想像の翼を広げること、その大切さを子どもたちにも感じてもらいたい。そんな願いをこめて、この作品を選びました。多くの子どもたちに届けていきたい舞台です。



茅ヶ崎おやこ劇場は、生の舞台芸術を観ることを通して、子どもたちの健全な発達成長をつくる、会員制の子育ての会です。茅ヶ崎市・寒川町の親、先生、青年たちが力を合わせ、プロの劇団や音楽家を作る本物の舞台芸術を、年間を通して定期的に届けています。

おやこ劇場は、異年齢の子ども集団づくりや、地域でのつながりを大切にしています。会員は地域で「サークル」をつくり、子育ての仲間として楽しく活動しています。

いつでも、だれでも入会できます。あなたも地域のサークルで、一緒に子育てしませんか。

○おやこ劇場に入会するには…？

対象 低学年 → 3歳から小学校3年生までの親子
高学年 → 小学校3年生以上の親子、および青年（高校生以上）

会費 月会費（3歳から） ひとり 1300円 入会金 200円

会費は前納制です。入会月のみ2か月分前納（1300×2か月+入会金=2800円）となります。

会費は入場料ではなく、豊かな文化を届けるための活動運営費です。

事前に入会手続きが必要です。下記連絡先までお問い合わせください。

劇場説明会を随時行っております。お気軽にお問い合わせください。

おやこ劇場は、会員が会費を出し合うことによって運営している非営利の団体です。

営利団体・政党の下部団体・宗教団体ではありません。

お問い合わせ：茅ヶ崎おやこ劇場 茅ヶ崎市共恵1丁目4-4 ピュア共恵B103

TEL&FAX 0467-85-3880

(事務局携帯 080-1212-1735 事務所が留守の時はこちらにお願いします)

2022年度例会予定			
6月	人形劇団むすび座	「オズのまほうつかい」	人形劇
10月	スタジオM&C	「音楽はまほうつかい」	ピアノとチェロコンサート
その他 子ども達に出会ってほしい素敵な舞台を予定しています。			